

SHIRAKOBATO

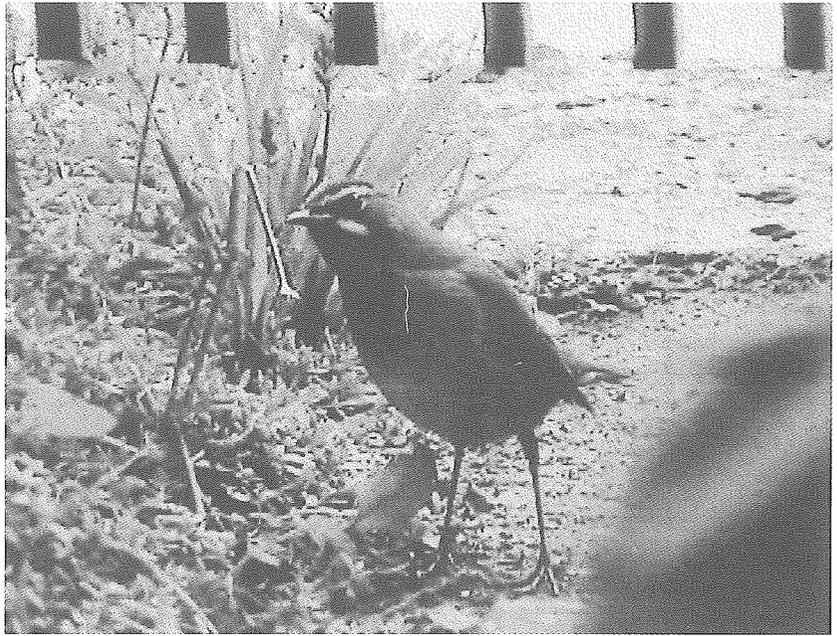
しらこぼと



2002. 12

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 224

日本野鳥の会 埼玉県支部

鳥見人のパソコン的生活

海老原美夫（さいたま市）

世の中にパソコン嫌いの人もたくさんいらっしゃることは、良く知っています。でも、いつのまにかパソコンが、人々の生活に大きく影響するようになってきました。私も50いくつかからの手習いでパソコンをいじり始めてはや6年。もうパソコンなしでは仕事も鳥見も出来なくなっています。ある鳥見人のパソコン的生活の一端を、ご紹介しましょう。

●朝事務所に行く

まずパソコンのスイッチを入れて、メールをチェックします。私の場合、仕事関係のメールより、なぜか鳥見関係の方が多いのです。

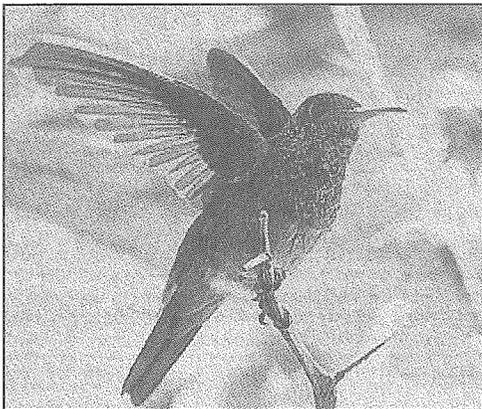
本部からの事務連絡、支部役員間の連絡、個人的な鳥友からの野鳥情報などが入ってきます。一番うれしいのが、当然野鳥の情報。え、あそこにあんな鳥が、行きたいな、仕事で行けないけどな、と悔しがりながらも、それなりに楽しいものです。

●野鳥情報をチェック

次にインターネットに接続して、野鳥の情報をチェックします。（言い忘れましたが、私の事務所は私が所長兼何でも屋の個人事務所です。会社や役所勤めの方は、ぜったい真似しないように。）

<http://www.jade.dti.ne.jp/~hirosi/> は「キムヒロのページ」。キムタクとは一味違う渋いアウトドア型紳士の木村宏氏が開いていて、その友人たちの写した写真が多数掲載されています。

最新の映像を掲載することが、すなわち最



ハイバラエメラルドハチドリ（エクアドル）

新の野鳥情報になっています。詳しい場所は伏せられていますが、探鳥地を知っている人にはある程度わかりますし、わからなければ、心当たりの鳥友にメールで問い合わせれば良いわけです。

<http://plaza25.mbn.or.jp/~kudos/> は、秋ヶ瀬をフィールドにする工藤隆氏の「秋ヶ瀬の鳥達」。<http://www.ne.jp/asahi/saitol8/torizuki/> は、やはり秋ヶ瀬付近をフィールドにする斉藤一也氏の「鳥好きの部屋」。この2つを見れば、我が家に最も近い探鳥地の情報はまずカバーできます。

<https://enter.nifty.com/iw/nifty/fbird/> は、登録してIDナンバーを取得することが必要ですが、一世代前のパソコン通信時代から続く由緒ある野鳥情報交換のページ。全国の会員がそれぞれの情報を書き込みます。

谷津干潟の情報を知らなかったら、谷津干潟自然観察センターの <http://www.city.narashino.chiba.jp/~yatsu-tf/> を見れば良いし、観察センターのあるところなら、それぞれがホームページを開いています。

毎朝それを全部チェックしていたら、仕事をする時間がなくなってしまいます。さ、仕事仕事！

●探鳥地・交通・宿泊等の情報・予約

初めての遠い探鳥地に出かけたくになったら、インターネットでその地名などを入力して検索します。地元の鳥見人が開いているページに行き当たることもありますし、それがなくても、観光案内などで様々な情報が入手できます。

JR 東日本のえきねっとの会員（会費無料）になれば、<https://www.tabi.eki-net.com> で列車の時刻表・乗り換え案内を見ることが出

来ますし、列車や宿泊の予約も出来ます。

カメラ、レンズ、双眼鏡、フィールドスコープなど、機材関係の情報もたっぷりあります。仕事時間外にアクセスしましょう。

●海外探鳥旅行のチェックリスト整理

たまに海外に探鳥旅行に出かけるとき、私が見ている旅行社、新和ツーリストでは、その地域で見られそうな鳥のチェックリストと図鑑の情報を事前に送ってきます。

十分な準備時間を取れなくても、仕事の合間にこれだけはやっておくのが、チェックリストのパソコンへの取り込みと 50 音順、アルファベット順並べ替えです。

送られてくるリストは分類順。図鑑は見慣れないもの。見たい鳥を図鑑上で探すのは、そのままでは結構時間がかかります。

e. Typist というソフトでリストをスキャナー入力して、エクセルというソフトの一覧表にします。

認識ミスの文字を訂正していく段階で、ある程度鳥の名前を覚えられます。英名は通常「Great Egret」のような順番になっていますが、それを「Egret/Great」のような順番に直しておくことも必要です。一度整理できれば、並べ替えの機能で、50 音順やアルファベット順にするのは、自由自在。50 音順とアルファベット順はそれぞれ文字の色を変えてプリントアウトし、図鑑の後ろに貼っておけば、わかり易い索引の完成です。

●ビデオ映像から静止画の取り込み

鳥見の最中には、さすがのパソコンも活躍の場はありません。自宅や事務所でおとなしく私の帰りを待っています。

現場で役に立つのは、携帯電話の方ですね。これはその内誰かが「鳥見人の携帯電話的生活」を書いてくれるかも知れないので、今回はパス。

鳥見後のパソコンは、まず、ビデオ映像の静止画取り込みで仕事を始めます。

自宅においてあるノートパソコンは SONY の VAIO。これには、DVgate-still というソフトが最初から入っていて、これが便利です。

デジタルビデオをデジタルラインでつないで、ビデオ映像から気に入ったシーンを 1 枚ずつ取り込むことが出来ます。

ビデオ編集用ソフトでも、静止画取り込みが出来るものがあります。ビデオカメラによっては、カメラの中でテープからメモリーに静止画をコピーできるものもあります。その場合は、メモリーをカメラから取り出して、PC カードアダプターでパソコンの PC カードスロットに差し込めば、パソコンにデータを直接コピーすることが出来るわけです。

●映像の処理と保管

画質の調整やトリミングなど、様々な処理が出来ます。そして保管。デジタル情報で保管されますので、画質の経年劣化はありません。デジタルカメラで撮影した映像の保管は勿論ですが、従来型のフィルムで撮影した写真をスキャナーで取り込み、デジタルで保管する人も多くなっています。

●映像の利用

前ページ写真がその一例ですが、静止画は支部報への投稿、はがきや名刺の作成、ホームページへの掲載など、様々な楽しむことが出来ます。

<http://23.tok2.com/ebi/> が私のホームページ。インターネットでの情報収集から始めて、インターネットへの情報発信でひとまわり、というわけですね。私のホームページが世の中の役に立っているとは思いませんが、私の自己満足には役立っています。

ビデオの編集もパソコンで出来ます。私は今のところ 10 分程度の短い作品の場合パソコンを使い、長い作品の場合は従来の方法と、使い分けています。

●要するに

鳥見人にとってのパソコンは、大きく分けて情報と映像処理の 2 分野、情報の分野では情報を得ることと発信することの両方で役立っているということです。パソコン嫌いの皆さん、パソコンっていうのも、結構いいやつかもしれない、と思いませんか。

2002年ガンカモ・ハクチョウ類調査結果

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

本調査が実施された2002年1月12日から1月14日までの3日間は、西高東低の冬型の気圧配置が崩れ、移動性高気圧が日本列島をゆっくり東進し、暖かな日となりました。

渡良瀬遊水地・貯水池と武蔵丘陵森林公園で近年に比べて半減し、他は例年並みであった結果、好天の調査日としては、調査をはじめた1982年以来最低の13,000羽強となりました。県内21カ所、37人の会員の方にご協力をいただきました。ありがとうございます。

(小荷田行男)

調査範囲	士見新水橋宮橋	荒川戸橋	第一池〜荒道調川	倉橋	秋ヶ瀬	戸堰	荒川明大	ダム淀	池全部	堂面橋	根橋	藤古塚橋	橋下東大	貯水池
地域	狭山市	戸川田口市	戸田市	浦和市	熊谷市	寄居町	草加市	松伏谷町	春日谷部	本庄市	北町	北川	北川	北川
コハクチョウ							134							
オシドリ								178						
マガモ	1		25	8	34			4		1		236	891	
カルガモ	53	11	67	9	8		2	25	52	32	821	801		
コガモ	11	11	74					21	20	88	105	27		
トモエガモ														
ヨシガモ												36	8	
オカヨシガモ	14		63									42	93	
ヒドリガモ		82	15					44	157	45			489	
オナガガモ		2	10				900	46	70	5	6		38	
シマアジ														
バンビロガモ	3		9					62		2	4		21	
ホシハジロ			13		23			167						
キンクロハジロ			21	13				52						
ホオジロガモ			1		1									
ミコアイサ			12										154	
カワアイサ												1	9	
カモSP													204	
種類	5	4	11	3	7	3	7	5	5	8	10			
合計	82	106	310	30	1,203	184	417	300	172	1,051	2,735			
調査者数	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	

調査範囲	新河岸	百六湖	武蔵丘陵森林公園	大沼公園	農林公園	昭和池	さきたま古墳	白幡沼	然見池公園	柳瀬川	黒浜沼	元荒川	総合計
池全部	川越市	吉見町	滑川町	江南町	川本町	久喜市	行田市	浦和市	さいたま市	富士見市	蓮田市	岩槻市	総合計
									1				0
													178
8	30	13	444	28	100	943	393						3,158
45	122		47	2	80	525	137		23	11	62	47	2,782
60	45		116		46	116	580	1	63	89	28	95	1,699
						8							8
				18									62
				47	41					5			305
81	158			79	1	143			1	75		108	1,458
306	24				63	82	4	42	128	27		9	1,762
			1										1
2		4	57		39	9	14	1		2		2	231
			18		243	163		11	12				650
			3		108	342		4					543
						1							3
			2		1	1							170
													10
													204
6	5	2	8	5	10	11	5	6	6	5	2	5	16
482	380	17	688	174	722	2,333	1,128	60	232	204	90	261	13,361
1	1	2	4	1	1	2	1	1	2	1	5	2	37

野鳥記録委員会の情報

日本野鳥の会埼玉県支部 野鳥記録委員会



●オオハム

分類 アビ目アビ科アビ属

英名 Red-throated Diver (英)

Arctic Loon (米)

学名 *Gavia arctica*

2002年10月2日(水) 戸田市彩湖で本橋弘邦氏(板橋区)が発見、デジタルカメラで撮影しました。

本橋氏の報告。「昨日の大型台風の後、朝からピーカン。何か来ていないかと彩湖に行ってみました。午前9時10分頃、彩湖の南側、はじめイカダの南端あたりにいて、次第に中央より北寄りを上流に進み、時々潜っていましたが、その内に見失いました。10時頃にも見たという人がいるらしいのですが、その人の名前はわかりません」

本種はユーラシア大陸亜寒帯の湖沼で繁殖し、冬は温帯沿岸部に渡ります。日本では冬鳥として北海道から九州の沿岸部で見られますが、埼玉県では、1974年1月22日、秩父市山田地区で1羽捕獲された(埼玉県動物誌)のが、唯一の確認記録です。

写真のない情報としても、1989年12月31日に狭山湖でシロエリオオハムらしいがオオハムの可能性もある個体の観察報告(本誌1990年3月第70号)があるだけです。

1978年4月以降の記録を整理している当委員会としては、本年1月第213号で報告したマミジロキビタキ以来、311番目として県

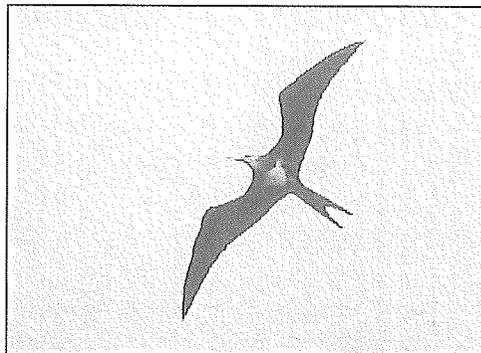
内鳥類リストに追加しました。

●コゲンカンドリ

分類 ペリカン目グンカンドリ科グンカンドリ属

英名 Lesser Frigatebird

学名 *Fregata ariel*



(撮影：藤掛保司)

2002年7月13日(土)から20日(土)の間、東京都東大和市の多摩湖で多くの人に観察・写真撮影されました。

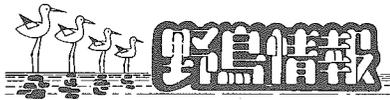
7月10日の台風6号による迷行と思われる。

ご存知の通り多摩湖は埼玉県との境界線に接しています。ところが、この個体が埼玉県内で観察されたという明らかな情報がありません。当時、隣接する埼玉県内の狭山湖は工事中で、水がありませんでした。したがって、多摩湖と狭山湖を行ったり来たりする状況にもなかつたわけです。

当委員会としては、埼玉県内でも観察されたという明確な情報がなければ、県内鳥類リストに追加するのは難しいと考えています。

県内での観察や撮影に関する情報をお持ちの方は、当委員会までお知らせください。

本種は、主にインド洋と太平洋の熱帯に分布していて、日本近海に出現するのはまれな鳥です。県内での過去の記録は、1981年7月に戸田市内で観察された写真のない情報が1件だけです。



岩槻市長宮 ◇5月16日午前10時頃、田んぼでチュウサギ15羽、アマサギ8羽、トラクターの後ろで餌とりに夢中。なかなかいい光景です。5月17日午後1時頃、田んぼでキアシシギ1羽。6月5日午前10時頃、アマサギ20羽以上、水田の一角にぎやか。近くにボツンと1羽のキアシシギ(鈴木紀雄)。

岩槻市鉤上新田 ◇5月23日午後3時頃、田んぼの畦でチュウシャクシギ1羽(鈴木紀雄)。

岩槻市大谷 ◇7月15日午後2時頃、田んぼの中の小さなアシ原でコムクドリ1羽、さえぎっていた。そのうち、何故か稲の間に入っていった(鈴木紀雄)。

岩槻市岩槻文化公園 ◇7月27日午後1時頃、ムクドリ50羽中にコムクドリ約10羽。クヌギやハンノキの虫をとっているようだった(鈴木紀雄)。

春日部市中央 ◇5月28日早朝、夢見心地に布団の中でカッコウの声を聞く(鈴木紀雄)。

春日部市下大増新田 ◇7月21日午後6時30分頃、電線上のムクドリ約300羽の群れ中にコムクドリ約30羽。数が多いのにビックリ。休耕田草地の中でジシギ類1種、過眼線辺りしか見えなかった。タシギではなさそうだった。8月2日午前9時30分頃、休耕田草地でタマシギ♀、気づかずに飛ばれてしまった。8月18日午後1時頃、ジシギ2種、タシギではなかった。9月24日、車中から至近距離でチュウジシギ1羽確認。9月30日、ヒヨドリ約30羽の群れ飛翔(鈴木紀雄)。

春日部市大沼 ◇9月25日、ツミ1羽、カラスにモビングされ上空を舞う(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜 ◇5月22日午後2時頃、田んぼでキアシシギ1羽。7月22日午後2時頃、電線上のムクドリ約150羽の群れ中にコムクドリ♀1羽。9月17日、電線に並ぶムクドリ約200羽の中にコムクドリ数羽。9月21日、療養所内で低空飛行するサシバ2羽。9月24日、療養所内の林でメジロ、シジュ

ウカラ混群中にムシクイ類1羽、クヌギの大木でエゾビタキ2羽(鈴木紀雄)。

伊奈町小室 ◇5月24日午後1時頃、東北新幹線高架下でイワツバメのコロニーを見つけた。約20の巣があり、イワツバメが周辺を飛び回っていた(鈴木紀雄)。

さいたま市大和田町 ◇5月29日午後11時頃芝川斜面林でアオバズクの「ホッホッ・・ホッホッ・・」の声を聞く(鈴木紀雄)。

さいたま市宮本 ◇6月3日午後1時、氷川女体神社でカッコウ1羽、樹頂で鳴く(鈴木紀雄)。

さいたま市下山口新田 ◇6月5日午後2時頃、芝川第一調整池でハマシギ3羽。6月10日午後2時頃、同所でシロチドリ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市大牧 ◇6月10日午後3時頃、畑の草地で変な声があるので、近寄ったらウズラ3~4羽が飛び出した(鈴木紀雄)。

さいたま市秋ヶ瀬 ◇7月2日午後2時頃、大久保農耕地B区でヨシゴイ1羽、アシ原を飛ぶ。数年前にはたくさんいたのに、随分減ってしまった。8月19日、A区でムナグロ30羽、オオジシギ2羽。9月20日、B区でノビタキ1羽。C区でキジバトと並んで電線にとまるチョウゲンボウ♀1羽。9月20日、子供の森でキビタキ♀タイプ2羽が追いかけて合っていた。9月25日、ピクニックの森でシジュウカラ、コゲラ混群中にコサメビタキ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市高畑 ◇7月17日午後2時頃、埼玉スタジアム脇の道路上電線でムクドリ8羽の中にコムクドリ♂1羽、もう秋の渡りだろうか(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼 ◇9月18日、芝川第一調節池周辺でハシビロガモ1羽。9月26日、キンクロハジロ1羽、オナガガモ1羽、ヨシガモ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市深作 ◇9月24日、アーバンみらい北側の工事現場の草原でノビタキ2羽(鈴木紀雄)。

さいたま市大牧 ◇10月2日午後4時15分頃、「大牧自然緑地」下を流れる見沼代用水西縁のカーブの所を下流から上流に向かって

カワセミ1羽。鳴きながら美しい姿を見せてくれました。斜面林や雑木林がどんどん宅地化されていく中で、先ずシラコバトが、次いでアオバズクが姿を見せなくなり、この1～2年はカッコウの声を聞くこともぐっと少なくなっていたので、とても感動しました（大武昭雄）。

戸田市道満 ◇6月6日午後2時頃、釣り堀でササゴイ1羽。上空でイワツバメ約20羽（鈴木紀雄）。

さいたま市彩湖北側 ◇10月16日、駐車場から荒川の方向に歩いていたら、可愛らしい鳥の音が聞こえました。暫く眺めていると、太い嘴が赤く、尾の付け根と腹の一部が赤い鳥が出てきました。図鑑で見るとベニスズメしか該当するのがありませんでした。珍しく、可愛い姿に満足の日でした。彩湖にはオナガガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ等のカモが来ました。モズも多く見かけました（渡邊一）。

吹上町小谷 ◇10月13日午後2時頃、荒川河川敷でアカアシギ1羽。澄んだ声で鳴きながら飛来し、干潟に降りる。上嘴も根元半分ほどまで赤い。足は朱色。埼玉県内で本種を観察するのはずいぶん久しぶり。10月14日午前8時30分頃、ツルシギ1羽、アオアシギの声（榎本秀和）。

北本市石戸宿 ◇10月23日午前9時30分、高尾の森上空でアマツバメ2羽、オオタカ1羽（逸見嶮と吹上野鳥の会メンバー）。

渡良瀬遊水地 ◇5月18日午後3時頃、湖面の浮きにとまるミサゴ1羽。コアジサシとともにアジサシ約5羽。ハマシギ1羽が湖岸にポツンといた。遠く樹上で鳴くカッコウ。9月22日、アマツバメ約20羽。夜8時前、バンディングにかかったヨタカ♀1羽を間近に見学（鈴木紀雄）。



アカアシギ（手塚正義）

名栗村上名栗 ◇6月8日午後3時頃、オオルリ♂1羽、ホトトギス、クロツグミの声（鈴木紀雄）。

川越市南古谷 ◇8月19日、セイタカシギ3羽、オオジシギ2羽、ショウドウツバメ数羽。8月27日、クサシギ1羽、タカブシギ5羽、アオアシギ1羽、コアオアシギ2羽、セイタカシギ2羽、トウネン1羽、オジロトウネン1羽、エリマキシギ♂2羽♀1羽、タマシギ♂1羽、幼鳥4羽、コチドリ多数。9月25日、ノビタキ3羽以上、ムナグロ1羽（鈴木紀雄）。

坂戸市高麗川 ◇9月15日夕方、多和目橋下流右岸四日市場地区堤防そばの稲刈りがすんだ田んぼでチュウサギ3羽。盛んに何かを採餌している行動が見られた。9月18日午前9時30分、左岸多和目地区天神橋そばの田んぼでチュウサギ1羽（増尾隆）。

坂戸市西坂戸 ◇10月13日午前11時頃、自宅の庭でノゴマ♂1羽、虫を捕食したり、水浴びしたり、スズメを追っかけたりで午後4時30分までいました。喉の赤いのが印象的。ビデオ撮影に成功！（増尾隆）。

神泉村城峯山 ◇9月18日午前9時30分～11時、ハチクマ5羽、ツミ1羽、ミサゴ1羽（堀越省一）。

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科コマドリ属ノゴマ

渡りの途中でしょうか。白い眉斑と頸線と、喉の赤が鮮やかなノゴマの雄です。赤い部分の下側に黒い太い線が取り囲み、以前は亜種オオノゴマと呼ばれていた個体です。野鳥情報にもある通り、10月13日我が家の庭でビデオ撮影しました。

増尾 隆（坂戸市）

行事案内



(富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般 100 円、会員と中学生以下は 50 円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後 1 時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集会所までお出てください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月1日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス 8:40 発にて「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、樋口

見どころ：我々は厚着をし、樹木は潔く葉の衣を脱ぎ捨てる。キツツキに叩かれ風の中に凜と立つ裸木の姿はまるで修行僧のようです。えさ探しに大忙しの鳥たちのなかに、ルリビタキやアリスイがいるかもしれません。探してみましよう。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

〈見沼ヘルシーロードコース〉

期日：12月1日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅西口バス1番乗り場から、浅間下經由東浦和駅行き 8:24 発、または大崎園芸植物園行き 8:31 発に乗り、「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：伊藤(芳)、手塚、工藤、倉林、吉岡(洋)、若林、新井(勇)、土澤、石田

見どころ：冷たく澄んだ空気、水場のカモたちの羽音、空を飛ぶツグミの声、林の中のジョウビタキの瞳、そして・・・。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月1日(日)

集合：午前9時15分、東武日光線柳生駅前。または午前9時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 8:20→春日部 8:38→栗橋 8:58→柳生 9:09。またはJR宇都宮線大宮 8:19→栗橋 8:53 にて、東武日光線乗り換え。

解散：午後12時45分ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：橋口、伊藤(隆)、玉井、内田、田邊、四分一、中里、田村

見どころ：今年はカモなど冬の水鳥の到来が遅いようです。10月末の探鳥会では11種とふるいませんでしたが、渡良瀬探鳥会では初めてのオシドリが来てくれました。谷中村の史跡ではジョウビタキやオオジュリンもそろい、シーズンはこれからです。防寒対策と昼食をお忘れなくお出かけください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月8日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:11 発、または寄居 8:49 発に乗り。

担当：後藤、森本、中里、島田、和田、倉崎、石井(博)、高橋、大澤、藤田、栗原、飛田

見どころ：冬本番となり冬鳥たちは、はるか

海のかなたから越冬のため飛来、また高山からは平地へと降りてきます。シロハラ、ジョウビタキ、アトリなどなど。何種見られるかな。一緒に探してみよう。

岩槻市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月8日（日）

集合：午前8時40分、東武野田線岩槻駅前、または午前9時20分、文化公園駐車場（国道16号側）。

交通：東武野田線大宮8：19発柏行き、または春日部8：24発大宮行きにて岩槻下車。集合後バスで現地へ。

担当：中村（榮）、吉安、樋口、玉井、松永、田中、長嶋、長野、榎本（建）

見どころ：公園の周辺で野鳥を探しましょう。自然林ではカケスやシロハラが、アシ原ではジョウビタキ・アオジやシメが、水辺ではカモやカモメの仲間が見られます。今年もアリスイヤルリビタキが来てくれれば最高です。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月15日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、若林、森（力）、小菅、新部、赤堀、兼元

見どころ：冬鳥が勢ぞろい。三室の鳥を見なければ年を越せない。毎年、その一年の鳥談議をしては楽しんでいきます。鳥を見て、人々と語り合って……やっぱいいものです。今年の暮れも是非おいでください。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月15日（日）

集合：午前9時40分、森林公園南入り口前。

交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9：17発バスにて終点下車。

費用：入園料400円（子供80円）

担当：内藤、佐久間、岡安、藤掛、後藤、青山、喜多

見どころ：秋から冬は風が季節を運んでくれる。いつしか木々は葉を落とし裸になっている。落ち葉に埋まる疎林地帯では小鳥を、点在する沼で水鳥を、紺碧の空に猛禽類を探そう。カワウが日光浴している大沼までの定例コースです。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月21日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：今年も延べで150人以上の方々のご協力を得て、納めの袋づめの日をことなく迎えることができました。来年も引き続きよろしくお祈いします。

年末講演会

期日：12月22日（日）午後1時30分～4時30分（受付開始午後1時）

詳細は12ページをご覧ください。

加須市・はなさき公園探鳥会

期日：12月23日（月・祝）

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口、または午前9時はなさき公園駐車場。

交通：JR宇都宮線大宮8：01→久喜8：22着にて、東武伊勢崎線春日部8：14→久喜8：28発に乗車→花崎8：39着。

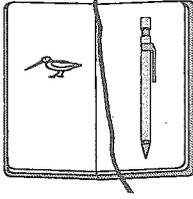
担当：中里、玉井、長嶋、田村、宮下、樋口、伊藤（隆）

見どころ：本年の最後を飾る探鳥会。公園の池ではカモたちが待っています。植物園では冬の小鳥たちが勢ぞろいしています。赤い鳥が見つかったら来年の幸運につなげよう。アシ原の中、師走の風に揺れる裸の木々が寒さをそそります。防寒対策はしっかりと。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月3日（金・祝）

恒例の新年挨拶探鳥会。詳しくは1月号でお知らせします。



行事報告

5月25～26日(土～日) 神泉村 城峯公園

参加：19人 天気：晴

カワウ アオサギ オシドリ カルガモ トビ
ハチクマ コジュケイ キジ キジバト アオバ
ト ツツドリ ホトトギス アオゲラ アカゲラ
コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグ
ロセキレイ ヒヨドリ クロツグミ ヤブサメ
ウグイス メボソムシクイ エナガ ヒガラ ヤ
マガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ
ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ムクド
リ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス
(城峯38種) オオタカ ノスリ ミソサザイ コ
ルリ アカハラ センダイムシクイ キビタキ
オオルリ(横瀬、美の山8種、計46種) 支部創立
当時の探鳥地である美の山公園をコースに入れ、
土曜日は横瀬県民の森、美の山公園、日曜日は城
峯公園を廻った。実施が5月末のため、クロツグ
ミやキビタキの姿を見ることができなかったが、
城峯でアオバトが頭上を飛んでくれた。埼玉の山
の鳥を堪能した2日間であった。(橋口長和)

7月7日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加：30人 天気：晴

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ササゴイ ダイ
サギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ キ
ジ バン オオバン イソシギ コアジサシ キ
ジバト カッコウ カワセミ ヒバリ ツバメ
ハクセキレイ ヒヨドリ モズ コヨシキリ オ
オヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ ス
ズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシ
ブトガラス(31種) いつもどこかで工事をして
いる渡良瀬遊水地、今回は思いで橋の袂が大きく伐
採されていた。しかし北エントランス北側のアシ
原浄化ゾーンの増設工事が終わったので足を延ば
し、通称アパッチ砦のポンプ場展望台から谷中村
跡が一望でき、ササゴイやヨシゴイがあちこち
から飛び出すのがよく見えた。その後、いつもの浄
化ゾーンの池で、定番のコヨシキリ、オオヨシキ

リ、セッカをゆっくり観察した。(橋口長和)

7月14日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：51人 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カル
ガモ コジュケイ キジバト ホトトギス ツバ
メ イワツバメ ハクセキレイ コゲラ ヒヨド
リ ウグイス セッカ シジュウカラ オオタカ
メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクド
リ ハシボソガラス ハシブトガラス(24種) ま
ず西田沼でカイツブリ、カルガモ。疎林地帯では
ヤマユリが少なくなって、花もまだ咲いていな
かった。ホトトギス、オオタカの声聴きながら、
オオムラサキの場所へ。10数頭(匹)のオオムラ
サキがいて、皆満足の様子。(佐久間博文)

7月28日(日) 狭山市 入間川

参加：23人 天気：曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ササゴイ ダイ
サギ コサギ アオサギ カルガモ イソシギ
キジバト アオゲラ コゲラ ツバメ イワツバ
メ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
ヒヨドリ エナガ シジュウカラ メジロ ホオ
ジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス(28種) 7月
の入間川の探鳥会に参加したことのある人は「暑
かった」という記憶しかないかもしれない。それ
ほど毎年暑いのだが、今年は奇跡的に曇って、さ
ほど暑くない。日陰探しをせずに、落ち着いて鳥
探しができた。(長谷部謙二)

8月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加：13人 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ チュウサギ コ
サギ アオサギ カルガモ トビ イカルチドリ
キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウ
グイス シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ ス

ズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 朝早くから気温がじりじり上がる。関東平野で一番の酷暑で有名な熊谷市での探鳥会。鳥もお盆休みのせいか影が薄い。サルスベリ (百日紅) だけはこの暑さを楽しんでいるみたいだ。そんな中でもホオジロは随所で盛んに鳴いていた。明戸堰ではサギ類がのんびりとくつろいでいた。皆の体調を考えて早めに切り上げた。(中里裕一)

8月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 13人

新井浩、伊藤泰一郎、江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、志村佐治、原田譲、藤掛保司、藤野富代、増尾隆、松村禎夫、百瀬修

8月18日(日) さいたま市 三室地区

雨のため中止。

8月18日(日) 千葉県船橋市 船橋海浜公園

雨のため中止。

8月25日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加: 50人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オカヨシガモ ホシハジロ スズガモ トビ バン ハジロコチドリ コチドリ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン オバシギ アオアシシギ キアシシギ ソリハシシギ オグロシギ オオソリハシシギ ホウロクシギ チュウシャクシギ セイタカシギ ウミネコ コアジサシ キジバト コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 潮が引いてくるにつれて海からシギ・チドリが入ってくる。種類も増える。観察センターの前浜にハジロコチドリがいて、全員で見た。終了後はアカアシシギも現れて、居残り組は2倍楽しめた。(杉本秀樹)

9月1日 第19回リーダー研修会

参加: 40人 場所: 北本市中央公民館

本部普及部からはお馴染みの法月稚津余氏が参加。新規受講者8人に役員・リーダーを合わせて40人が集い、今回も有意義な研修会となる。

これだけの人数が一堂に会し、共に学び、意見交換できる場は他にはない。今回は、福井幹事には「探鳥会の安全対策」、橋口幹事には「総合学習の場等での探鳥会指導」を分担していただき、研修内容のいっそうの充実を図った。

終了後の懇親会にも23人の参加があり、おおいに盛り上がった。(榎本秀和)

9月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 24人 天気: 晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カワウ ササゴイ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ トビ コジュケイ キジバト ツツドリ コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ モズ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 秋の新たな出会いは、桜並木のレストランで好物の毛虫を食すツツドリ、モズの高鳴き、水辺ではオムズビ頭とルビーの眼を持ったハジロカイツブリ、今季初確認のササゴイ。ゲストは少なかつたけれども、時折吹く風は秋そのものだった。(島田恵司)

9月14日(土) シギ・チドリ類調査

ボランティア: 11人

赤堀尚義、池内輝明、石井智、稲垣寛、小林ますみ、杉原みつ江、高橋優、時吉由子、肥留間梅子、藤澤洋子、米岡茂代◆例年どおり、さいたま市秋ヶ瀬地区で行われた。雨の中、ご苦労様でした。

9月15日(日) さいたま市 三室地区

参加: 55人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オオタカ ハヤブサ バン キジバト ツツドリ カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ コムクドリ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 8月が雨で中止。久しぶりの三室の仲間達は元気、元気。リーダーもフルメンバーだ。代用水の桜並木でコムクドリ。いつもの森でツツドリ。そしてたんぼの向こうの大きな枯れ木にオオタカの若が止まっていた、全員楽しむ。探鳥会初出現のハヤブサも少しの参加者だったが見られた。いい日だった。(楠見邦博)

連絡帳

●年末講演会にどうぞ

日時：12月22日(日)午後1時30分～4時30分(受付開始午後1時)

会場：埼玉県県民活動総合センター(北足立郡伊奈町、TEL 048-728-7112)

交通：大宮駅ニューシャトル12:00発、12:30発で羽貫駅下車。または上尾駅東口から羽貫駅行きバス12:04発で羽貫駅下車。羽貫駅から無料送迎バスに接続。会場に駐車場もあります。

第1部 午後1時30分～2時

ビデオで振り返るこの1年。

第2部 2時15分～4時30分

日比彰(新和ツーリスト)講演会。

『Birder』誌の連載「世界の鳥界事情」でもお馴染み。豊富な海外探鳥ツアーリーダーの経験から、世界の鳥と鳥見事情についてお話しいただきます。

(第1部と第2部は入場無料)

第3部 懇親会(会費4,000円)

希望者だけが同センター内のレストランで2002年最後の懇親会。

●ポストカードでタンチョウ保護

日本野鳥の会の鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリでは、第2回コニカ・タンチョウチャリティーとして、1口1,000円のご寄付にお礼として、オリジナルポストカード1セット(5枚)をプレゼントしています。

郵便振替用紙の通信欄に、「ポストカード申し込み、1,000円×()口」と記入し、「02790-0-37274 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」宛てお送りください。2～3週間で、ポストカードをお届けします。

問合せ先 同サンクチュアリ(〒085-1205 北海道阿寒郡鶴居村中雪裡南、TEL 0154-64-2620、FAX 0154-64-2239)

来年度のポストカード用の写真も募集しています。詳しくは、野鳥の会のホームページ、<http://www.wbsj.org>にも掲載。

●普及活動

10月11日(金)越谷市立大袋北小学校5年生の総合的な学習の時間と、10月20日(日)三郷市立彦成中学校の身近な自然観察会で、山部直喜幹事が指導。

10月12日(土)、さいたま市大東青少年育成会主催の「見沼歩こう会」で、倉林宗太郎幹事と新部泰治リーダーが指導。

●12月の事務局 土曜と日曜の予定

7日(土) 1月号編集作業。研究部会議。普及部会議。

14日(土) 1月号校正。

15日(日) 役員会。

21日(日) 袋づめの会。

●会員数は

11月1日現在 2,638人です。

活動報告

10月7日(月)、30日(水)本部の寄附行為等審議会出席(海老原)。

10月12日(土)校正作業(海老原美夫、大坂幸男、志村佐治、藤掛保司、山田義郎)。

10月13日(日)役員会議(司会：玉井正晴、各部の報告・1月～4月の行事予定・その他)。

10月21日(月)支部報のみの会員宛て11月号を郵便局から発送(倉林宗太郎)。

編集後記

パソコンは嫌いです。でも毎日使っています。「キムヒロのページ」は欠かせません。私にとって珍鳥情報を得る最も早い方法です。メールも便利です。デジカメもよく使います。次のパソコン購入も考えています。(山部)

しらこぼと 2002年12月号(第224号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 郵便振替 00190-3-121130

〒336-0012 さいたま市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社